

自 民 富 山

第 4 3 号

自由民主党富山県連広報委員会
委員長 中 川 忠 昭
発行日 平成 21 年 7 月 13日
印刷所 中 村 印 刷 工 業 (株)

自由民主党富山県支部連合会 役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	長勢 甚遠	財務委員長	大野 久芳
副会長	米原 蕃	財務委員会副委員長	山本 徹
幹事長	坂田 光文	遊説局長	稗苗 清吉
筆頭副幹事長	杉本 正	遊説局次長	夏野 元志
副幹事長	高野 行雄	// (青年部長)	小柳 勇人
//	高見 隆夫	// (女性青年部長)	柳瀬恵美子
総務会長	山辺 美嗣	党紀委員長	大上紀美雄
総務会副会長	矢後 肇	党紀委員	山本 修
政務調査会長	上田 英俊	//	吉田 良三
政務調査会副会長	五十嵐 務	//	神名 進
//	宮本 光明	//	新田 長正
//	神田 真邦	会計監督	高平 公嗣
組織委員長	横山 栄	//	佐藤 英逸
組織委員会副委員長	渡辺 守人	//	岩田 忠正
// (青年局長)	山本 徹	青年局長	山本 徹
// (女性部長)	田伏加南代	青年部長	小柳 勇人
広報委員長	中川 忠昭	女性部長	田伏加南代
広報委員会副委員長	井村 昭彦		
// (青年局幹事長)	高木 悦子		
// (女性部幹事長)	堀田 紀子		

第57回 自民党富山県連定期大会 被表彰者等名簿

1. 優秀党员

党员氏名	党员氏名
市田 佳美	高田 隼水
宇多 慎司	西尾 恭子
大沢 理作	野澤 雅子
北村 雅子	村田 秀夫
窪田 泰治	中村 幹雄
小橋 賢治	柳原 文男
岡本 三之	竹内 文彦
荻野 俊行	花木 肇正
山岸 銀七	

2. 優秀党組織・機関

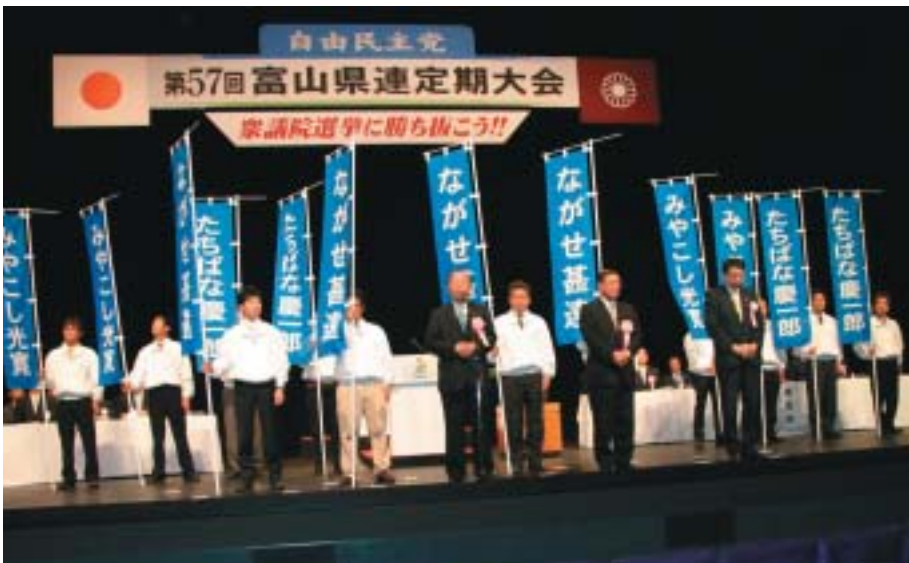
組織又は機関名
自由民主党砺波市連合支部
自由民主党福光連合支部
自由民主党細入支部 女性部
自由民主党朝日町支部 青年部・青年局

3. 友好団体

組織又は機関名
自由民主党二十一世紀富山をつくる会
自由民主党富山県薬剤師支部

4. 協力者

氏名	氏名
山縣 重彦	今村 光男



富山駅前で行われた街頭遊説にも参加し、自民党の政策を広く県民に訴えました。

五月三十日、第五十七回自民党富山県連定期大会を富山市芸術文化ホールで、石井知事、県選出国会議員、各市町村長をはじめ、党员・党友約一、五〇〇人が出席し開催しました。大会では、長勢甚遠県連会長が「景気回復に向け着実な施策を実行するためにも、天下分け目の戦いを勝ち抜かなければならない」と述べ団結を訴え、来るべき衆議院議員選挙に向けての特別決議を採択し、一区、二区、三区それぞれの公認候補予定者の必勝を誓いました。また、永年わが党に貢献された優秀党员・党組織、友好団体、協力者の方々が大会にて表彰されました。自民党幹事長細田博之衆議院議員が大会で記念講演をし、その後、JR

天下分け目の戦いを勝ち抜こう!!

第五十七回自民党富山県連定期大会

党员党友の皆様、五月三十日の自民党県連大会において、幹事長に就任いたしました坂田光文でございます。景気対策はじめ、雇用の安定、地域経済の活性化、北陸新幹線の早期整備や教育、医療・福祉の推進など富山の発展の為に取組むべき課題は数多くありますが、まずは、現下の厳しい経済環境を乗り越えて、明るさが見えて来るよう頑張つてまいります。これらの課題に果敢に取り組みとともに、いよいよ押し迫ってきた今夏の来るべき総選挙に備えていくことが、私の最大の使命であると考えております。一区では長勢甚遠氏、二区では宮腰光寛氏、そして三区では橘慶一郎氏の三人の公認候補予定者が出揃い、いよいよ臨戦体勢に入っております。完全勝利を目指して、戦い抜く決意でありますので、党员党友の皆様の総力を結集し、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。自民党を取り巻く環境はこれまでにない厳しいものですが、これまでも何度かこうした危機を一致結束してぐり抜けてきた歴史があります。英知を集め、明るく希望ある社会にするため、スピード感をもって取り組んでまいります。皆様の日頃のご支援とご協力に深く感謝申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

総選挙の完全勝利を目指して総力の結集を!

幹事長 坂田光文

県連新役員を選出、新体制をスタート

県連大会で二年任期の役員改選を行い、長勢甚遠会長の再任と新たに米原蕃副会長、坂田光文幹事長、山辺美嗣総務会長、上田英俊政調会長の選出などを承認決定し新執行部をスタートさせました。



長 勢 甚 遠
県連会長



坂 田 光 文
幹事長



米 原 蕃
副会長



上 田 英 俊
政調会長



山 辺 美 嗣
総務会長

自民党员募集!

自民党は党员を募集しています。詳しくは、お近くの自民党支部又は自由民主党富山県支部連合会まで〔自由民主党富山県支部連合会〕

〒930-0095 富山市舟橋南町3-15 TEL 076-432-2520 <http://www.jimin-toyama.jp/>



『私の決意と抱負』

自由民主党富山県第一選挙区支部
支部長 長勢 甚遠



党員、党友の皆様方には、日頃より大変お世話になっておりますことに心より感謝申し上げます。

現下の最重要課題は、経済危機を克服する筋道をつけることです。そのため、政府・与党は補正予算を成立させました。これを迅速、円滑に実現していくことが必要です。私も自民党雇用・生活調査会長として特に雇用対策の取りまとめを行いました。今回の補正予算の重点のひとつは地方の活性化です。雇用対策や医療・介護、教育などの施設・体制の整備についても地方公共団体がそれぞれの地域の実情に沿った具体的施策を実施できるよう国政の場で県・市と一体となつて全力を尽くして参ります。

現在、我々自民党は結党以来の危機的状況に立ち置かれております。次の総選挙では何としても勝ち抜き、責任政党として日本の将来を担っていかねばなりません。政権担当能力、国の将来にかかわる外交、防衛、教育など具体的な施策について国民に理解してもらおうことが必要です。

六期に亘り皆様方にお支え頂きました事に報いてまいりましたため、私も全力で戦ってまいりますので、何卒、党員、党友の皆様方より一層の御支持御支援を賜ります様、心よりお願い申し上げます。げまして私の決意とさせて頂きます。

『私の決意と抱負』

自由民主党富山県第二選挙区支部
支部長 宮腰 光寛



党員党友の皆さまには、日頃の力強いご支援ありがとうございます。国会は、景気対策の早期実施をはじめ、郵政問題、臓器移植法の改正、ソマリア沖の海賊や北朝鮮の核・ミサイル問題への対処など難問山積です。

今国会では私が農水副大臣の時から手がけてきた「農地法」の改正が実現しました。農地法は、郷土の大先輩である松村謙三先生が農林大臣の時に作り上げたもので、戦後の農地解放の成果を担保するための極めて重要な法律ですが、時代の変化に伴い耕作放棄地が増加し、一方で食料自給率が低下してきている現状を何とか打破できるように改正するものです。五十七年ぶりの大改正を、修正を含め最後まで責任を持ってやり遂げさせてください。深く感謝いたします。

二十七年ぶりの改正となる「北方領土問題等の解決の促進に関する特措法」も成立目前までできました。北方領土が我が国固有の領土であることを初めて法律に明記するもので、ロシア下院からは反発の決議もだされましたが、今後の領土交渉に向けて国会の意思を明確にするという意味で重要な改正です。いずれにせよ解散総選挙は目前です。過去に例のない厳しい戦いになると覚悟しておりますが、ぜひ皆様のお力をお貸しいただきますよう心よりお願い申し上げます。暑い時期に向かいますが、皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

『私の決意と抱負』

自由民主党富山県第三選挙区支部
支部長 橘 慶一郎



ません。

今、日本は変革を迫られています。戦後の成長により、世界有数の経済力を有する国となりましたが、国民の年齢構成の変化、中央と地方の地域格差の拡大、激動する国際情勢、現下の世界的な不況等の諸問題に対処しつつ、「新しい国のかたち」を考え、確かな針路を選択しなければなりません。

私は公務員として国の仕事を経験する機会があり、ふるさとにUターンして十五年間、バブル経済の崩壊や地方分権改革の中で企業経営や地域づくりに携わってきました。とりわけ、高岡市長として五年間、自立できる自治体づくりを目指し、市民の皆様と努力を続けてきました。その中で、これからの国は、「住む地域や携わる産業が異なっても誰もが将来に希望を持ち、安心して活躍できる土台をつくっていくべき」と強く感じました。

国の現状をしっかりと見据え、必要な改革を国民の皆様にはわかりやすい開かれた形で着実に進めていく、その声掛け役を任せて頂き、富山県西部から新しい日本づくりをスタートさせたい、そんな想いで毎日頑張っています。

富山県議会

議長に梶氏、副議長に高平氏

富山県議会では、二月定例県議会最終日の三月二十四日、正副議長の改選を行い、議長に梶敬信氏（自民五期、氷見市）、副議長に高平公嗣氏（自民四期、中新川郡立山町）を選出しました。

富山県政発展のため、正副議長の今後益々のご活躍を期待しております。



梶 敬 信
議 長



高 平 公 嗣
副議長

三部局合同研修会

二月二十一日、県連青年局・青年部、女性部合同で恒例の三部局合同研修会を開催しました。講師に、佐藤正久参議院議員を招き、「現場を知るからこそ見えてくるもの」と題して講演を行いました。



佐藤正久参議院議員による講演

講演終了後、県内選出国會議員、県連役員を囲んでの懇親会に移り、出席者は日頃の党活動を語り合いながら楽しいひとときを過ごしました。